

11月12日のウクライナ情報

安齋育郎

①9日のニュース】プーチン露大統領、カザフスタン訪問 米国、ウクライナ支援金9割超使い果たす(2023年11月9日)

世界では毎日様々な出来事が起きている。ここでは今日の国際ニュースをダイジェストでお届けする。

露カザフ首脳会談

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は9日、中央アジア・カザフスタンを訪問し、同国のカシムジヨマルト・トカエフ大統領と会談した。今年のプーチン大統領の外遊は、先月のキルギス訪問、中国訪問に続いて3回目。

会談では主に2国間の戦略的パートナーシップ関係について議論された。共同声明の主な内容は次の通り。

両国は自らの主権を強化し、国際的義務を果たす

両国の平和原子力分野での強力は発展している

両国は宇宙への兵器配備に反対の立場を同じくする

ロシアとカザフスタンは両国を繋ぐパイプラインの増設に向けて協力する

米国、ウクライナ支援資金がまもなく枯渇

ロシアの特別軍事作戦が始まって以来、米国はすでに武器供与を含むウクライナへのあらゆる分野の支援に向けて拠出された資金の96%を使用した。ホワイトハウスが発表した。

ホワイトハウスのジョン・カービー戦略広報調整官によると、個別の軍事支援に関して、米政府は割り当てられた全資金のうち90%以上をすでに使用し、米国防総省には米軍の兵器備蓄を補充するために割り当てられた約11億ドルしか残っていないことを明らかにした。

米議会の混迷が続き追加支援の展望が乏しいなか、すでに米国はウクライナ支援を「小出し」にする方針転換を迫られている。この状態が続けば、ウクライナ支援の停止は現実のものとなる。

中東情勢

ハマス、ガザ北部のコントロール失う

イスラエル軍は、ハマスがガザ地区北部のコントロールを失ったと発表した。イスラエル側は中心都市ガザ市包囲作戦を進めており、地下に張り巡らされたトンネル網への攻撃も強めている。

シリア、米軍基地を砲撃

シリア東部のデリゾール県で、石油生産施設近くに駐留する米軍が砲撃にさらされた。一部では米軍とその支援を受けるクルド人武装組織「シリア民主軍(SDF)」が、シリア政府軍との間で激しい戦闘を行った。

イエメン・フーシ派、米無人機撃墜

イエメン北部を実効支配するフーシ派は、アフリカとアラビア半島を隔てる紅海の上空で、米軍のドローンMQ-9(リーパー)を撃墜したと発表。迎撃時の様子を捉えたとする映像も公開した。



<https://sputniknews.jp/20231109/99-17637303.html>

②ハンガリー、ウクライナ EU 加盟交渉を拒否の意向「条件満たさず」(2023年 11月 10日)

ハンガリーのグヤーシュ首相府長官は 9 日の記者会見で、ウクライナの欧州連合(EU)加盟に向けた交渉の開始を拒否する意向を示した。地元メディアが報じた。EU 加盟各国は 12 月の EU 首脳会議で交渉の開始について協議するが、交渉開始には EU 加盟 27 カ国による承認が必要で、曲折も予想される。

EU の行政執行機関である欧州委員会は今月 8 日、ウクライナが少数民族への対応や汚職対策を進めるなどの条件付きで、ウクライナとの加盟交渉を始めるよう加盟国に勧告した。

グヤーシュ氏は 9 日、ハンガリーがウクライナと連帯して財政・人道的な支援を行ってきたとした上で「だからといってウクライナが交渉開始のための条件を満たしていない事実は変わらない」と述べた。ハンガリーのオルバン政権はウクライナに住むハンガリー系住民が母国語を使う権利を侵害されているなどと主張している。

ロイター通信によると、欧州統合を担当するウクライナのステファニシナ副首相は 9 日の記者会見で、ハンガリーの反対について「そうした声があることは理解している」と述べつつ、ハンガリー政府に対話を求める考えを示した。

ウクライナはロシアの侵攻が始まった直後の 2022 年 2 月末、EU への加盟を正式に申請した。欧州委は今月 8 日、モルドバとボスニア・ヘルツェゴビナとの条件付き加盟交渉開始の勧告も出している。

交渉開始を巡っては、ロシアに融和的な中道左派政党が第 1 党となったスロバキアも難色を示す可能性がある。【ベルリン念佛明奈】

③勝敗はすでに決しているのに、空約束の軍事支援で、米国はウクライナに戦争継続を強いている E・トッド氏インタビュー(文春オンライン、2023年11月9日)

※安齋注:「ウクライナの敗北」ではなく、「アメリカの敗北」と言っているのは面白いです。

〈我々はいま、ウクライナ戦争の報道を日々眼にしていますが、西側の主流メディアは、最も肝心な“現実”をきちんと伝えていません。西側陣営が直視できていない“現実”とは、米国がすでにウクライナ戦争で負けてしまったことです〉

こう断言するのは、私の歴史人口学者・家族人類学者のエマニュエル・トッド氏だ。しかし、なぜ「米国はすでにウクライナ戦争で負けている」と断言できるのか。

〈私は昨年6月の時点で、『長期戦』で軍需品を消費し続ければ、『高度な軍事技術』よりも『兵器の生産力』が課題として浮かび上がってくる」「米国にとって『生産力』の問題がこれから重くのしかかってくる」(『第三次世界大戦はもう始まっている』文春新書)と指摘しましたが、グローバリゼーションによる「産業空洞化」という米国の弱点がここに来て露わになっています〉

「兵器供給力=工業生産力」で米国は敗北している

戦争は長期化すればするほど、「物量戦」の様相を呈してくる。「複雑で高度で高価な最先端の兵器」よりも、「通常の安価でシンプルな兵器や弾薬」が大量に必要なのだ。

ところが、米国は、膨大な額の軍事支援をウクライナに約束しているが、国内産業が空洞化しているために、「通常のシンプルな兵器や弾薬」を迅速かつ大量に供給できないでいる。この「兵器供給力=工業生産力」で、米国は敗北しているのである。

〈この戦争の勝敗は事実上、決っていて、米国の敗北はほぼ確定しています。米国が十分な武器や弾薬を物理的にウクライナ軍に提供できないことが明らかになったからです〉

〈「貨幣を配ること」と「実物の製品を配ること」は同じではありません。膨大な額の軍事支援を約束しているのに、軍事物資そのものはウクライナに届いていないのです。そのため、ウクライナの「反転攻勢」は、ほぼ失敗に終わっています〉

では、すでにほぼ失敗に終わっている「反転攻勢」は、一体、誰のための、何のためのものなのか？



<https://news.yahoo.co.jp/articles/acc05aff35d45549de042528dc4c5515841f9dc5/images/000>

④中国メディア ゼレンスキーが「西側に裏切られた」と不満(遠藤誉中国問題グローバル研究所所長、筑波大学名誉教授、理学博士、2023年11月9日)

10月30日に米「タイム」誌がゼレンスキー大統領とその周辺の関係者を追跡取材して「私のように我々の勝利を信じている者は誰もいない。一人もだ」という表紙の見出しでゼレンスキーの孤独と政権関係者のゼレンスキーへの不信を暴いた。

それに関して中国メディアは大いに燃え上がったが、中でも中国共産党機関紙「人民日報」の姉妹版「環球時報」の電子版が大きく取り上げているので、中国ネットにおける声も拾ってご紹介する。

◆環球網がゼレンスキーの「西側に裏切られた」という不満を報道

10月31日の環球時報の電子版「環球網」は<米メディア:ウクライナ大統領の側近が、ゼレンスキーが西側同盟国に裏切られたと感じていることを明らかにした>

という見出しで、米「タイム」誌の衝撃的な単独取材を報道している。

環球網がどの点に焦点を当てたかを見ることによって、この件に対する中国の視点が見えてくるので、環球網に書いてある内容のいくつかをピックアップしてみたい。

●今年9月にゼレンスキーが訪米したが、それまでと違って、ワシントンはゼレンスキーを歓迎していなかった。ゼレンスキーの側近は訪米を取りやめた方が良くと忠告したが、彼は何としてもアメリカの支援をつなぎ留めておきたかったので、側近のアドバイスを聞かなかった。

●しかし結果は惨憺たるもので、訪米後の「タイム」誌のインタビューで、「私ほど我々が勝利すると信じている者は誰もいない」と述べた。

●6月で65%のアメリカ人がウクライナへの武器供与の拡大を望んでいたが、現在では41%しか望んでおらず、ウクライナ支援に対する急降下が歴然としている。「勝利は目の前に迫っている」とゼレンスキーは焦って宣伝しているが、そうではないことを世界は知るようになった。特にイスラエルとパレスチナの紛争が勃発すると、世界の注目はウクライナから中東に移っていった。

●加えて、ウクライナ政権の内部腐敗には目に余るものがあり、支援をする西側の熱意を薄め、兵士の戦意を削(そ)いでいる。

●こここのところウクライナ軍が戦場で挫折を経験しているにもかかわらず、ゼレンスキーは戦いを放棄するつもりも、いかなる形の平和を模索するつもりもない。それどころか、ウクライナが最終的にはロシアに勝利するという信念がさらに強まり、政権や軍部の認識と乖離している。

●ガザでの問題が発生したとき、ゼレンスキーはイスラエルを支援するために同国を訪問する許可を要請したが、イスラエル政府は「まだ機は熟していない」と、歓迎しないことをほのめかした。つまり、拒絶したということだ。

◆中国のネット上での声

このテーマに関しては、非常に多くの中国のウェブサイトがさまざまな視点から記事を書きまくっているし、それに対するネットユーザーのコメントも数多く溢れている。それら複数のウェブサイトにおけるコメントや微博(ウェイボー)でのコメントなどを集めてみた。複雑なので、リンク先は省略する。

●裏切りだって？ アメリカは最初からウクライナを消耗品としてしか扱ってないんだよ。全てはゼレンスキーの希望的観測に過ぎない。

●バイデンにとってウクライナはただのチェスの駒であり、チェスのゲームが終わろうとしており、チェスの駒の価値はなくなっただけさ。

●ゼレンスキーよ、あなたのその頑固さが、ウクライナの国民の命をより多く奪っていることに気がついてください。

●戦争が終わったら、ゼレンスキーは「英雄」から「罪人」になるかもしれない。最近では支持率が急落しているため、戦争が終わったら裁かれることを怖れて、何が何でも停戦してはならないと言って

いるのではないのか。平和交渉を叫んだ人は捕まってしまうようだ。

●戦争の継続だけが自分の政治的立場を維持できることに気づいたんじゃないのか？

●もうみんな、彼の「番組」を見るのにうんざりしているんだよ。脚本家も、もう脚本が書けなくなったんじゃないのかい？

●大統領になる前にコメディアンなんかやってないで、三国志演義や孫子の兵法でも学んでいたら、こんな悲惨なことにはならなかっただろうね。

●もしかしたら、欧米パパは、最初からあなたに勝たせようとは思っていなかったかもね。

●ゼレンスキーは西側に裏切られ、イスラエルに拒絶され、世界から忘れ去られる。

●そもそも威勢よく「イスラエル支持」を表明したけど、イスラエルがガザでやってることって、ロシアがウクライナでやってることよりも残酷じゃない？イスラエルの行動を支持するんなら、ロシアを非難できなくなるでしょ？そのダブルスタンダード、どうするんだい？おまけにイスラエルに「来るな」って言われて、メンツなくして「欧米に裏切られた」って、矛盾してるよね。

●裏切られたんじゃないかって、捨てられたのさ。

◆ウクライナはやがてバイデンを恨むようになる

ウクライナ戦争が始まった2ヵ月後の2022年4月16日に出版した拙著『ウクライナ戦争における中国の対ロシア戦略』において、筆者は第五章で【バイデンに利用され捨てられたウクライナの悲痛】という見出しで書いた。その章では、どれだけバイデンが卑怯な動きをしたかを、年表を作成して考察した。

ウクライナ戦争が始まった翌日の2022年2月25日にもコラム<バイデンに利用され捨てられたウクライナの悲痛>という同じ見出しで、一部だけ触れている。

当時は、ゼレンスキーは英雄のように語られていたので、筆者はかなりバッシングを受けたが、今ならば、もしかしたら少なからぬ読者が共鳴して下さるかもしれない。

あのとき、米「タイム」誌の単独取材が描いた世界と同じ視点を持つことができたのは、拙著『ウクライナ戦争における中国の対ロシア戦略』で年表を作成したからではないかと思う。

ファクトを時系列的に分析していくと、必ずそこから、ある真実が浮かび上がってくる。理論物理の統計物理学で「時系列分析」というのがあるが、その手法を常に国際政治分析に関しても使うようにしている。

予測が当たったのは、実は哀しいことだ。

こんな哀れな現状に、私たちは直面しているのだから。

ウクライナの国民は、やがてバイデンをそしてNATOをさえ恨むようになるかもしれない。

この時系列分析に従えば、今年出版した本『習近平が狙う「米一極から多極化へ」台湾有事を創り出すのはCIAだ！』に書いたように、アメリカが次に狙っているのは台湾だ。ウクライナに対してやってきたことと同じことをバイデンは今、台湾に対してやり始めている。

まだ懲りないのか。

参考までにBBCの<アメリカが静かに台湾を徹底武装させていく>を最後にご紹介したい。これに関しては追ってまた分析するつもりだ。

ゼレンスキーの嘆きは他人(ひと)ごとではない。

明日はわが身かと、日本人も心して考察すべきだろう。

⑤メキシコが万博撤退の意向 `ドミノ、広がる懸念 食い止められるか(2023年11月10日)

※安齋注:資材高騰はウクライナセンスのせい?

メキシコが2025年大阪・関西万博への参加から撤退する意向を関係者に伝えたことが9日、分かった。参加を表明している国の多くは、予算や人員の確保に苦勞しながら万博の準備を進めてきた。メキシコの撤退でそうした国の心理的ハードルが下がり `撤退ドミノ、が広がれば、完全にパビリオンのそろわないみすばらしい万博となり、集客力や収益力も打撃を受けかねない。

「われわれが提示した(パビリオンの)建設費に対し、各国が提示した予算は半額程度だった。しかし、各国が自国の政府に新たな追加の予算を要求するのは極めて困難だろう」

多くの国とパビリオン建設の交渉を行ったあるゼネコンの関係者は、各国の厳しい状況を、こう説明した。

各国は、極めて限られた時間で万博の準備を進めてきた。2022年2月にはロシアがウクライナに侵攻し、パビリオン建設に必要な資材の価格が急騰。各国が用意した予算と実際の建設費が折り合わなくなり、各国の万博担当者は、一度組んだ予算やパビリオンの出展形態を見直さなければならなくなるなど苦境に追い込まれた。

撤退する国が出るのを防ぐため、日本国際博覧会協会(万博協会)は、負担の軽い簡易型パビリオンの用意や、準備をサポートするスタッフの増員といったつなぎ止めの努力を続けてきた。

しかし、メキシコに関しては、そうした努力が実らない可能性が出ている。追随する国が相次げば、初め想定していた規模での万博はできず、魅力が失われる恐れもある。協会は、万博参加のメリットを高め、各国をつなぎとめる努力がさらに必要となる。(黒川信雄)



<https://news.yahoo.co.jp/articles/9f9f56599fea39fce393e20e55f80374ca0abeab/images/000>

⑥バイデン大統領がネタニヤフ首相と「戦闘の一時停止」協議するもバイデンが「激怒」(ニッポン放送、2023年11月7日)

経済アナリストのジョセフ・クラフトが11月7日、ニッポン放送「飯田浩司の OK! Cozy up!」に出演。イスラエル・パレスチナ情勢について解説した。

米バイデン大統領とイスラエル・ネタニヤフ首相が電話会談

飯田)アメリカのバイデン大統領とイスラエルのネタニヤフ首相が電話会談を行いました。この関係はどうか？

クラフト) 国務省の幹部から聞いた情報では、アメリカが激怒しているようです。ネタニヤフ首相は極右派の思想で、バイデン大統領は左派です。もともと折り合いがつかないなかで確執がありました。

飯田)もともと。

クラフト)アメリカとしては、ハマスの奇襲は許されるものではないため、当初はイスラエル支援の立場を取りました。しかし、イスラエルのガザ地区空爆でパレスチナ市民の犠牲者が多く出てしまった。それにバイデン大統領は相当悲しんでいて、ネタニヤフ政権に対して自制を求めたのです。ネタニヤフ政権の優先順位は「ハマスの壊滅」、次に「人質解放」、3つ目が「パレスチナ人の安全・人権」です。対するアメリカは「人質解放」がトップで、次に「パレスチナ人の人道支援」、最後に「ハマスの壊滅」なので、折り合いがつかないわけです。

飯田)なるほど。

クラフト)しかもバイデン大統領とネタニヤフ首相の信頼関係が薄い分、言うことを聞かない。そこに米政府は憤りを感じています。

飯田)その上、バイデン政権はこれまで、アラブ諸国と密接な関係を積み上げてきているわけではありません。

クラフト)バイデン政権の中東外交、あるいは中東政策は失敗しています。トランプ政権時代のアメリカとサウジの関係は良好でした。アラブ首長国連邦(UAE)やバーレーン、カタールとの関係もよかった。ところがバイデン政権になってサウジとの関係が崩れ、イスラエルとも確執が生じました。アメリカの影響力は著しく低下している状況です。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/af31737f47022fba0e847965d27dbcb7645ecd59>

⑦露「米・ウクライナ、ロシアに勝つのは不可能…もう悟るべき」(中央日報、2023年11月10日)

ロシア側が「もはや、ウクライナと米国は戦場でロシアに勝つのは不可能」という立場を示した。

ロシアのプーチン大統領に随行してカザフスタンを訪問中のロシア大統領府報道官は9日(現地時間)、ロシア国営放送「ロシア1」のパーベル・ザルビン記者とのインタビューでこのように述べた。

ペスコフ報道官は「米国がウクライナ支援のために1時間当たり2億ドル以上を負債利子償還に支払っているという内容を読んだ」とし「(紙幣を印刷する)紙がまもなく足りなくなるだろう」と述べた。

カザフスタンを訪問中のロシアのラブロフ外相は同じ記者とのインタビューで、ウクライナの領土回復の可能性を信じるという米国の立場について「信じる者に福が来る」ということわざを論評の代わりとした。

先立って、米大統領府のジョン・カービー国家安全保障会議(NSC)戦略疎通調整官は8日の会見で「バイデン大統領はウクライナが領土を取り戻すと信じているのか」という質問に「我々は彼らが領土を取り戻すことができると絶対的に信じている」と答えた。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2061e98f784ae0f7f98001697bcf4abbbf3b751d0>

⑧M1「エイブラムス」の改造車両 M1150 ABV「アサルト ブリーチャー」が突然ウクライナに登場 支援リストになかったのになぜ？(2023年11月9日)

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領が 2023 年 11 月 3 日にテレグラムに投稿した画像に M1「エイブラムス」の車体をベースに開発された戦闘工兵車の M1 ABV(アサルト ブリーチャー)が映っていたことで、同車両をウクライナ軍が受領していたことが明らかになりました。

この画像はゼレンスキー大統領が同国の軍関係の記念日である「ミサイル部隊と砲兵工兵部隊の日」の式典に出席した際に撮影した画像に映った車両になります。形状から M1 ABV のアメリカ陸軍仕様である M1150 ABV であると、現地メディアでは伝えられています。

これまで、同車両の親戚ともいえる M1A1「エイブラムス」に関しては、供与されることが明らかとなっていました。M1150 ABV に関してはアメリカ国防総省などが発行した資料には記載されていませんでした。同車両は、既にウクライナに届けられていると噂の、M1A1「エイブラムス」よりも早く、そして突然に公式の場で姿を現したことになります。

なお、入手ルートに関しては、支援項目のなかの「地雷除去装置」の中に同車も入っていたのではと報じるメディアもあります。

M1150 ABV は、戦場に仕掛けられた地雷や即席爆破装置である IED などの除去のために開発された車両で、ブルドーザーのブレードや、広範囲の爆発物を除去する地雷除去ライン装薬、地雷除去ラインランチャーなどを駆使し、後続部隊の安全を確保する車両です。今後は、ロシア軍が構築した広大な地雷原を除去する任務に使用される可能性が高いです。



【確かに後ろにデカイ車両が！】これが式典で公開された M1150 ABV です

⑨地雷をまく男(2023年11月10日)

ドネツクでは、草の上に「花びら」地雷を撒いていた地元住民が拘束された「ベリー」というコールサインを持つ陸軍情報将校が語ったところによると、彼は市内のキロフスキー地区でこの行為をしているところを捕まったという。

被拘禁者自身はブデンノフスキー地区に住んでいた。ベリー氏が指摘したように、彼はまた、「できるだけ多くの害を及ぼすために」ドネツク中心部にそのような爆発物を散布した。

<https://twitter.com/i/status/1722799206942003207>



<https://twitter.com/zov vs nato/status/1722799206942003207?s=09>

⑩ウクライナ財務省: ロシアの軍事予算はウクライナの国家予算の 2.5 倍である(2023年11月10日)

マルチェンコ氏は、2024 年のウクライナの資金需要と、国際パートナーからのウクライナへの支援を維持する重要性について語った。

同氏が述べたように、軍事支出の割合は 2024 年までに総予算の 50%以上、GDP の約 21% となる。

同大臣が報告したように、ウクライナは国家予算と国内借入からのすべての歳入を軍事作戦の資金に充てている。税金と国内借入の観点から、ウクライナは限界に達している。

2024 年のウクライナの対外援助資金需要は 410 億ドルに上る。

また、来年の外部資金需要は満たされていないが、290 億ドルとなっている。

同時に、ロシアの軍事作戦予算は 1150 億ドルで、ウクライナ予算の 2.5 倍以上である。

Russia's military budget is 2.5 times larger than Ukraine's: Kyiv in dire need of help – Finance Ministry

ECONOMICHTNA PRAVDA – TUESDAY, 7 NOVEMBER 2023, 19:05



754

Russia's military budget is more than twice the size of Ukraine's military budget in 2024, so support from foreign partners is critically important.

Source: This was stated by Minister of Finance Serhii Marchenko in an interview with Italian outlet Corriere della Sera.

<https://twitter.com/zov vs nato/status/1722843299764113892>

⑪ロシア連邦外務副大臣、米国との国交断絶の可能性を検討(2023年11月9日)

ロシアのセルゲイ・リャブコフ外務副大臣は、米国との外交関係が格下げ、あるいは断絶される可能性が高いと考えている。彼によると、その理由はワシントンの行動にあるようだ。

リャブコフによれば、現在、ロシアとアメリカの関係には、過去に例を見ないような深刻な危機が訪れているという。リャブコフは、これ以上のエスカレートを防ぐためには、慎重な調整が必要だと強調した。

そして国の指導部は、外務省をはじめとする連邦行政機関にこれを促している。

しかし、アメリカの側では、「ウクライナとの関係において、一連の無責任なエスカレーション的措置があるが、それだけではない」と副大臣は RTVI のインタビューで語った。

「したがって、この角度から見て、いわばワシントンの行動モデル、現在の時期の特徴的な行動モデルを見れば、何でも想定できる。格下げもあるかもしれない。国交断絶もあり得る」とセルゲイ・リャブコフは語った。

同時に、ロシアは米国との国交を断絶するつもりはないと強調した。そうでなければ、「互いに信号を送り合う文明的なチャンネル」の名残が失われてしまうからである。



<https://www.pravda.ru/news/world/1906615-rjabkov/>

⑫現代の外交:ウクライナ軍兵士はゼレンスキーの否定的傾向を知っている - F-16では救えない(2023年11月10日)

前線におけるウクライナ軍の悲惨な状態は、アメリカの戦闘機によって救われることはないだろう、とアナリストは言う。彼らの意見では、F-16の”鳥”はどこにも配置されておらず、ウクライナの兵士がすでに知っているように、前線では役に立たない。

アナリストが指摘したように、ウクライナ軍の動向はウラジミール・ゼレンスキー大統領にとって壊滅的なものである。人材も装備も不足しており、国内の軍事部門ではスキャンダルが相次ぎ、指導者は将軍らの信頼を失っている。

「現在の傾向がゼレンスキーにとってマイナスであり、ウクライナにとってマイナスであることは明らかだ。戦場にいる兵士たちはすでにそれを知っている。ウクライナは100機から150機のF-16を望んでいる。実際、彼らには配置する場所がない」と『現代外交』の著者らは書いている。

戦闘機を制御する人も戦闘機を整備する専門家もいないため、F-16 は状況を救うことはできないとアナリストは結論付けた。



<https://www.pravda.ru/news/world/1906812-vsuf16zelenskii/>

⑬ ミシェル・ヤコブレフ元軍人の分析(2023年11月10日)

ミシェル・ヤコブレフ氏:

夏以降、戦線は安定しています。突破しようとしたウクライナ軍の目論見は失敗に終わりました。ロシア軍の防衛線の突破しようと固執続けたウクライナ軍には痛手ですね。

—あまりにも固執し過ぎたということですか？

そう思いますね。

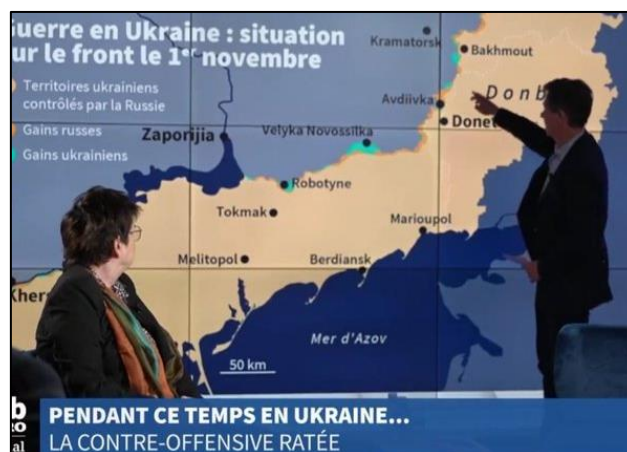
—つまり無駄に大勢死なせたということですか？

明らかにそうです。それで現在、使えるはずだった資材を失ってしまいました。今は戦線は多少、安定して局地的な戦闘が行われています。技術的には双方、互角でしょう。ロシア軍はウクライナ軍についてしっかり学び、有利に活かしています。

ザルジニーが言った通りです。この事実はウクライナ人たちをイラつかせています。

—戦争はロシアと西側諸国との産業の競争に姿を変えました。話を戦線に戻して、地図を見てみましょう。

この地域がロシアに占領されています。オレンジの部分でロシアの占領地です。数ヶ月、占領されています。



こちらの水色のところ、ここここ...アヴデエフカの近く、ベリカ・ノヴォシルカの近く、それにラボトノイエはウクライナ軍によって奪還された場所です。



軍の総司令官によると、反転攻勢にあたって定められた目標には程遠い 17 平方キロメートルです。当のウクライナ軍総司令官は、1 日平均 30 キロ攻略すると言っていました。しかし、実際にはウクライナ軍は 5 ヶ月で 17 キロしか進んでいません。

一般的に、そんなスピードの攻勢は現実的でしょうか？

もっと早くやれるでしょう。

1940 年 5 月 13 日のセダンの戦いの攻勢を見るなら、ドイツ国防軍のスピードは 1 日 100km/h でしたが。

総司令官(ザルジニー)が深い分析に基づき、ベリカ・ノヴォシルカ付近での 17 キロが最高記録だったと言ったんです。

ウクライナ軍は 1 秒たりとも第 3 防衛線を越えていません。

壁に向かって頭突きをするようなことは、いずれ止めなければなりません。この夏いっぱい、こんなことをやっていたのは残念です。

<https://twitter.com/i/status/1722823324043182144>



https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1722823324043182144?s=09